

国立大学法人  
奈良女子大学 旧奈良女子高等師範学校本館 重要文化財

# 記念館一般公開

平成17年11月1日(火)～11月7日(月)(午前9時～午後4時)

特別  
展示

「持続可能な暮らしと社会」ドイツ環境保全展  
—地球の未来を次世代に伝えるために—

2005  
2006

Deutschland  
in Japan  
日本における  
ドイツ



入場  
無料

- 公開施設 記念館(重要文化財 旧奈良女子高等師範学校本館)
- 入場料 無料
- 交通 近鉄奈良駅より徒歩約5分  
JR奈良駅より市内循環バス近鉄奈良駅前下車  
※お車でのご来学はご遠慮下さい

連絡先:奈良女子大学総務・企画課 〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL 0742-20-3220 FAX 0742-20-3205 記念館HP <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>

特別  
展示

「持続可能な暮らしと社会」ドイツ環境保全展

—地球の未来を次世代に伝えるために—

(ドイツ連邦環境省・ドイツ連邦環境財団環境コミュニケーションセンターほか)

奈良女子高等師範学校(現奈良女子大学)は、奈良市の市街地にあり、明治41年3月に設置され、42年5月から授業を開始した。校舎の工事は、41年2月の本館の着工にはじまり、42年10月には主要な建物が完成した。現在残る旧本館(現奈良女子大学記念館)及び守衛室はこの時の建物で、本館は42年10月、守衛室は同年12月の竣工である。工事は文部省建築課が行い、京都帝国大学建築部長で奈良出張所長心得の山本治兵衛が実務の中心的役割をはたした。

旧本館はキャンパス中央南寄りであって東面して建ち、旧本館の真向かいに正門、正面の北西に守衛室が建つ。

旧本館は木造二階建てで、外壁の一部をハーフティンバー形式とする。正面中央に玄関が取り付け、南側面に便所が附属している。屋根は葺瓦で中央に塔屋が付き、正背面に各二箇所、両側面に各一個所のドーマー窓を設ける。一階は中央南北に廊下を通り両側を校長室・応接室等の部屋とし、二階は全体を講堂とする。講堂の天井は、中央部を二重に折上げ、小壁に化粧の窓を設ける。

ドイツ連邦共和国大使館総括のもと2005年4月から開催されている「日本におけるドイツ年2005/2006」では、文化、経済、科学の3分野において、多くの行事や情報発信が行われています。

この度、奈良女子大学記念館一般公開にあわせて、奈良日独協会との共催により行うパネル展示では、環境先進国ドイツにおける多種多様な環境保全の取り組みを紹介します。

パネルでは、「持続可能な暮らしとは」「フェア・

2005  
2006

Deutschland  
in Japan  
日本における  
ドイツ



トレーディング」「エコ・テキスタイル」「地産地消」「ブルー・エンジェル・マーク」「廃棄物マネジメント」「エコデザイン」「カーシェアリング」「待機電力」「再生可能なエネルギー」「エコ住宅」「環境教育」など、誰にとっても身近な環境保全の例が分かりやすく紹介されています。

併せて、ドイツの日常生活で使われている環境に配慮したエコ・グッズ、及びドイツ観光局提供の観光ポスターなどを展示します。



講演会

「ドイツの環境教育」

京都女子大学専任講師・奈良女子大学非常勤講師

NPOならグリーンネットワーク代表 土井 ギーゼラ

11月5日(土) 14:00-15:00 記念館講堂

その他

期間中、学内で次のような関連行事を開催します。

■ドイツ映画上映会

11月3日(祝) 15:00 「グッドバイ・レーニン」

11月6日(日) 15:00 「橋」

文学部南棟3階LL2教室  
(先着60名・無料)



入場無料

■交通

近鉄奈良駅より 徒歩5分  
JR奈良駅より  
市内循環バス近鉄奈良駅前下車  
※お車でのご来学はご遠慮下さい。

記念館HP <http://koto.nara-wu.ac.jp/kinenkan/>

■連絡先

奈良女子大学総務・企画課  
〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
TEL.0742-20-3220  
FAX.0742-20-3205

